

2021年3月11日

株式会社博報堂プロダクツ

博報堂プロダクツ、データ利活用によるマーケティング DX 支援の 強化に向けてデータブリッジ株式会社と資本提携

博報堂グループの総合制作事業会社、株式会社博報堂プロダクツ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：岸直彦）は、データ分析支援、データマネジメント支援に強みをもつ、データブリッジ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役：瀧山孝平）と資本提携いたしました。

データブリッジ株式会社は、マーケティングやプロモーションのあらゆるデータマネジメント、データ分析に対応した、PDCA 運用環境の構築支援を基盤に、それぞれの目的に則したデータの「見える化」や、様々なデータマネジメント、データエンジニアリング支援およびコンサルティングに強みを持つ会社です。データサイエンティストとデータエンジニアによって様々なクライアントにこれらのサービス提供をしております。

近年、マーケティングやプロモーションにおけるデータ利活用の有用性は各企業の DX の積極的な取り組みに伴い、重要性が一層増しています。例えば、CRM 領域においては MA（マーケティング・オートメーション）ツールの活用などもセットになったデータ利活用が急加速しており、セールス（営業）領域においては、営業支援ツールと MA の連携活用、セールスジャーニーマネジメントといった営業 DX の展開が加速しています。もはや、データの利活用なくしては、これからのマーケティングやプロモーションは成立しないため、総合制作事業会社である博報堂プロダクツは、あらゆるデータ利活用の取り組みをこれまでも推進してまいりました。

当社は、今回のデータブリッジ社との資本業務提携により、データ利活用ビジネスの足腰ともいえるデータサイエンス、データエンジニアリング機能をプロダクツグループ内でさらに強化いたします。それにより CRM、セールス、リテール、ストア、イベ

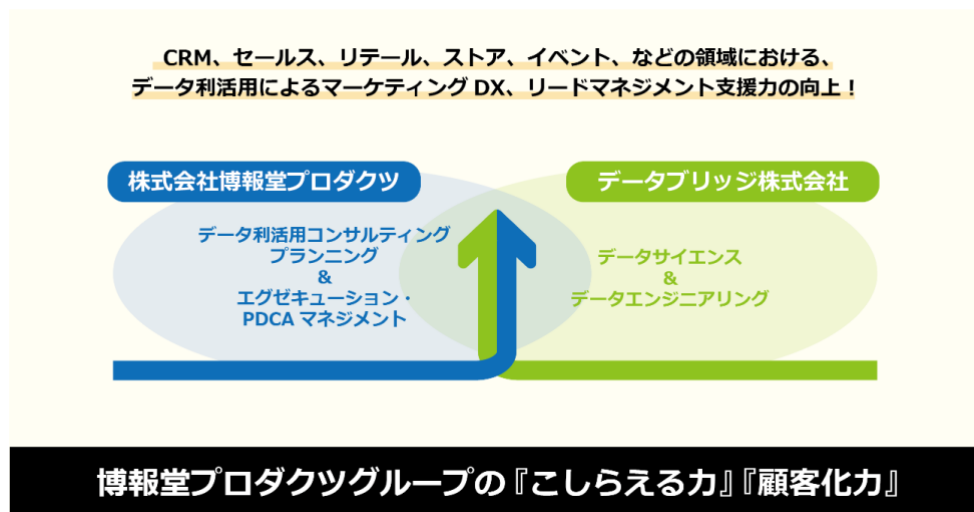
本件に関するお問合せ

博報堂プロダクツ 広報部

TEL : 03-5144-7228

ントなどの領域におけるデータ利活用において、コンサルティングから各種エグゼキューション・PDCA 運用までをより高いレベルで、ワンストップで対応することが可能となり、さらなるプロモーションの進化に向けたデータ利活用をより積極的に取り組んでまいります。

両社の機能と資本提携による発展のイメージ



【データブリッジ株式会社 会社概要】

会社名：データブリッジ株式会社 (<http://data-bridge.co.jp/>)

代表者：代表取締役 瀧山 孝平

設立：2017年3月

決算期：2月末

従業員数：27名（業務委託／パート含む）

業務内容：データ分析のPDCA運用環境構築支援、データマネジメント支援、コンサルティング

資本金：3,500千円

住所：東京都江東区豊洲 5-6-15 NBF 豊洲ガーデンフロント

※ 文中に記載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。

※ この情報は発表日現在の情報です。検索日と異なる可能性がございますので予めご了承ください。

以上